

(一)単元名『ほんは ともだち としょかん』をつくろう

授業者 東京学芸大学附属世田谷小学校 福田 淳佑
児童 1年3組 35名

(二)単元のねらい

- ◎友達と絵本の交換ゲームを通して、読書の幅を広げ、色々な絵本を読んだり、読み聞かせてもらったりする。
- 絵本の絵や題名などを手掛かりにして、自分が面白いと思えるような絵本を選ぶことができるようになる。

(三)単元の流れ

【第1時】

- ◇活動のゴールとして、『ほんはともだちとしょかん』をつくることを知る。
- ◇メディアルーム（本校図書室名称）へ行き、絵本を三冊選ぶ。
- ◇教室に戻ってから、自分が選んだ絵本に、名前と選んだ理由をかいた付箋を貼る。

【第2時】

- ◇一回目の交換ゲーム。
- ◇友だちと交換をした絵本に、自分の名前と選んだ理由を付箋に書いて貼る。

【第3時】

- ◇前回、交換をした絵本の中から、『ほんはともだちとしょかん』に置きたい一冊を選ぶ。
- ◇メディアルームに行き、次の交換ゲームに向けて、三冊の絵本を選ぶ。

【第4時】

- ◇二回目の絵本交換ゲームをする。

【第5時】

- ◇友だちと交換をした絵本の中から、一冊選ぶ。
- ◇最後の交換ゲームに向けて、三冊の絵本を選ぶ。

【第6時】

- ◇三回目(最後)の絵本の交換ゲーム。
- ◇『ほんは ともだち としょかん』をどのような形にするのか、意見を発表する。

【第7時】

- ◇交換をした絵本から、『ともだち としょかん』に残したい一冊を選ぶ。
- ◇絵本を選んだり、交換をしたりしたときに、「△（絵や題名以外）」と書いた詳しい理由を子どもたちに聞く。

【第8時】

- ◇『ほんは ともだち としょかん』をつくりたいのかを考える。
- ◇「どんな人に来てほしいのか、きてくれた人たちにどんな気持ちになってほしいのか」を生活班で話し合う。

【第9時】

- ◇前時に班で話し合った、「どんなとしょかんにしたいか」という願いを実現させることができそうな、具体的な方法を考える。

【第10時】

- ◇『ほんは ともだち としょかん』開催に向けた「見通し」をもつ。

【第11・12時】

- ◇おあいてさんに向けて、招待状をつくる。

◇自分が選んだ絵本を伝えるためのポスターをつくる。

【第13・14時】

◇『ほんは ともだち としょかん』全体の配置をつくる。

【第15・16時】

◇六年生と二年生のおあいてさんを招待して、『ほんは ともだち としょかん』を開く。

【第17時】

◇単元「『ほんは ともだち としょかん』をつくろう」での学びを振り返る。